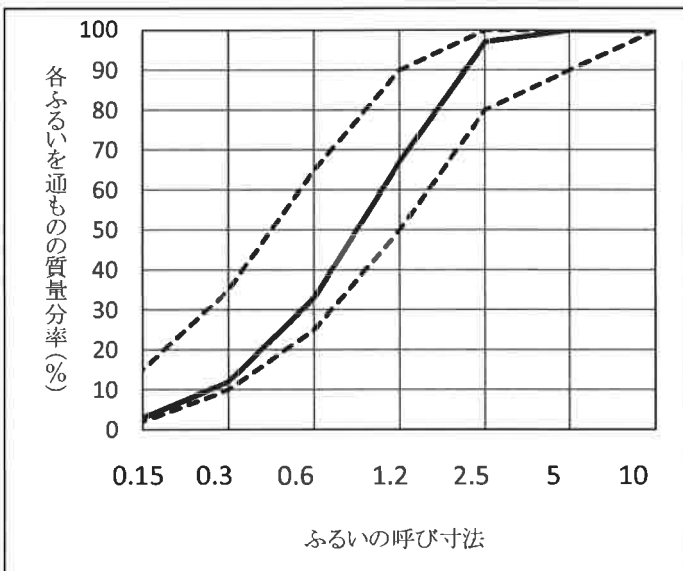


## コンクリート用砕砂試験成績表

			発行日	平成31年04月22日
種類(呼び方)	砕砂(CS)A	原石の種類	硬質砂岩	
製造業者名	中央砕石株式会社	採取地の地名・番地	大阪府高槻市大字原856-4他76筆	
プラント名	CSプラント	試験実施日	物理試験:	平成31年04月15日
			アルカリシリカ反応性試験:	平成30年11月26日
試験項目(物理試験)	JIS規格値	試験値	注記	
絶乾密度(JIS A 1109) ※	2.5g/cm <sup>3</sup> 以上	2.61	○ 表乾密度 ( 2.65 ) g/cm <sup>3</sup> ○ 協議によって定めた規格値 ・ 微粒分量の目標値 = 5.0 % ・ 微粒分量の許容範囲 = ± 2.0 % ・ 表面水量 = 10%以下 実測値は = ( 5.9 ) % ※ JISA1102及び1109と1122は洗浄した試料を使用し、粒径判定実績率試験は、1.2mmでカットした試料を使用する為、元砂WSの試験値を採用する。	
吸水率(JIS A 1109) ※	3.0 % 以下	1.51		
安定性(JIS A 1122) ※	10 % 以下	3.8		
微粒分量(JIS A 1103)	5.0 ± 2.0%	4.3		
粒形判定実績率 ※	54 % 以上	57.7		

### ふるい分け試験 ( JIS A 1102 )

	ふるいの呼び寸法 mm	各ふるいを通るものの 100 100	隣接するふるいに留まるものの質量分率の差 <sup>a)</sup>
ふるい分け試験結果	10	100	-
	5	100	0
	2.5	97	3
	1.2	67	30
	0.6	33	34
	0.3	12	21
	0.15	3	9
粗粒率		2.88	-
協議によって定めた粗粒率: 2.80±0.15			



注a) 隣接するふるいについて、呼び寸法の大きいふるいから呼び寸法の小さいふるいの各ふるいを通るものの質量分率を差し引いた値を示す。  
質量分率の差が45%以上になってはならない。

アルカリシリカ反応性試験 (JIS A 1145及びJIS A 1146)	試験結果	A:無害と判定
	試験方法	化学法及びモルタルバー法
	A:無害と判定 B:無害でない判定、又は試験を行っていない	
試験機関名	物理試験:	中央砕石株式会社 試験室
	アルカリシリカ反応性試験:	一般財団法人 日本建築総合試験所

大阪府高槻市大字原856番地-4  
中央砕石株式会社  
電話 072-687-0076

作成者		品質管理責任者	担当者
担当部署	品質管理課		
担当者名	松下晴彦		